

城北年金友の会

Vol. **26**

2016年12月
冬号

地元再発見シリーズ
葛飾界隈の旅



お客さま参加コーナー

- さわやかシニアライフ
- 思い出旅行記
- 夏休み子供日帰りバス旅行
- お客さま訪問



城北信用金庫

城北年金友の会 vol. 26

地元再発見シリーズ

帝釈天、マンガ、拘置所、工業製品 個性あふれる葛飾名物めぐり	3
さわやかシニアライフ 男の夢と人生を賭けて、太鼓一筋66年/ 木のぬくもりを感じる、小さな鈴を作り続けて	6
夏休み子供日帰りバス旅行	8

思い出旅行記

函館・青森グルメの旅	9
お客さま訪問 受け継がれる伝統製法を知る 東京23区唯一の“乾麺工場”	10
お客さまに信頼されるパートナーを目指して/ 平成29年お誕生日プレゼント	11



庄巻の彫刻ギャラリー。大きな樺材からなる十枚の桐羽目に法華経説法にまつわる浮き彫りがほどこされている。緻密で荘厳な彫刻に思わず息をのむ。

©帝釈天題経寺広報部



©帝釈天題経寺広報部

▲平成28年に都の指定文化財に認定された天然記念物「瑞龍松」と帝釈堂。松とお堂が一体化しているよう!

かつては島だった? 柴又地名の由来

映画『男はつらいよ』で寅さんの故郷としてもおなじみの柴又。その歴史をひもといていくと、奈良・東大寺に現存する養老5年(721)の戸籍「下総国葛飾郡大嶋郷戸籍」に、すでに「嶋侯」の名が登場しています。東京都内でも最も古い地名といえるでしょう。

とはいえ、当時の地形は現在と随分異なっていたようです。利根川は東京低地から現在の東京湾に注ぎ、中世末期の海岸線は江戸城の石垣近くまでありました。柴又の地名は、河川が合流分岐する「俣」であり、土砂が堆積した「島」のような地形だったことが語源とみられます。中世には「島俣」や「柴俣」とも書かれるようになり、江戸時代になると「柴又」が使われるようになりました。

信仰だけじゃない帝釈天
ここは立派なアート寺

映画にも出てくる「帝釈天」は、正式名称を「経栄山題経寺」と言

います。「題経寺と名乗ってもなかなか気付いてもらえないんですよ」と笑うのは、同寺広報の須山保さんです。

入口の門(二天門)をくぐりながら見上げると、職人技が光る壮麗な彫刻に驚かされます。この地で生まれ育ち、小さい頃は帝釈天でよく遊んだという須山さんは、「以前は寅さんゆかりの地として見られていただけでしたが、近年では彫刻や樹齢約500年の松の古木などでも注目を集めるようになりました。これを機に神仏への畏敬の念を持っていただけなら」と期待しています。

「後世まで一日でも長く保存していくことが大切な使命」と須山さん。古いものを後世に残すために、文化を深く理解し人間の知識力を磨いていくことが大切なのだと言

地元再発見シリーズ

葛飾 界隈の旅

帝釈天、マンガ、拘置所、工業製品

個性あふれる葛飾名物めぐり

どこかのんびりした雰囲気の下町・葛飾区。重要な文化的景観エリアを目指す柴又、こち亀の舞台となった亀有、拘置所のある小菅、工場が連なる青戸、それぞれの特色を上手に地域ブランドとして昇華させた小さな町を訪ねます。



こち亀は葛飾区亀有が舞台!

「にじじゅく」と読みます

「新宿」と書く、まず頭に浮かぶのは、新宿区やJR新宿駅などでおなじみの「しんじゅく」ですが、実は葛飾区にも「新宿」があるのを「存じでしょうか? 「東京の地名がわかる辞典」(日本実業出版社)によると、「小田原北条氏時代に新しくできた宿場の意味から『にいじゅく』と読ませたといわれている」とあります。

「名所江戸百景 にい宿のわたし」安政四年(1857)初代歌川広重画 葛飾区郷土と天文の博物館所蔵

葛飾区青戸8丁目付近より中川、新宿を望む

全国各地にある「新宿」と名の付く地名は、主に近世以降に付けられたものが多いようですが、葛飾の「新宿」は戦国時代にはすでにその名が存在していたそうです。興味深いものがあります。

さて、水戸街道は、徳川御三家の一つ水戸藩の城下と江戸をつなぐ街道で、千住から松戸までは道中奉行の管轄下に置かれた最重要の脇街道でした。日本橋を起点とし、千住までは日光街道と共通で、小菅、亀有を

通り、中川を渡ると宿場町・新宿へ入ります。この地は大名や旅人をはじめ、経済活動の拠点としても重要な場所です。賑わったことでしょう。しかし、規模で本陣が設けられなかったため、休息するのみで宿泊はしなかつたそうです。中川で獲れる川魚料理でまずは鋭気を養い長い旅路につく——そんな旅人の姿を想像すると、初めて来たのどこか懐かしさを覚えてしまいます。今号は、のんびりした空気が流れる中でうっとりゆく葛飾エリアを皆さまにご案内いたします。

【参考文献】
「江戸切絵図で歩く 広重の大江戸名所百景散歩」(人文社) 「東京の地名がわかる事典」(日本実業出版社)

映画でおなじみの帝釈天参道 歴史が漂う門前町

昔ながらの情緒あふれる参道をぶらり歩いていると、有名な団子店や川魚料理店に混じってなにやら行列ができているお店を発見！昭和40年頃からの地に店を構え、漬物と佃煮を販売する「大徳」です。店主の長崎徳夫さんが、「美人には特に



▲柴又駅前に建つフーテンの真像。哀愁が漂う。



▲亀有駅北口で人々を出迎える両津勘吉像。



▲四ツ木つばき公園には等身大の大空翼像。

サービスするよ！」と威勢のよい声で買い物客の笑いを誘っていました。歴史と文化、人情に触れた柴又。せっかくなので他の町もぶらぶらしてみます。

誕生40周年、ギネスにも認定！ 葛飾の名物キャラといえは？

葛飾区の3大キャラクターといえは、寅さん（男はつらいよ）のほかに、翼くん（キャプテン翼）と両さん（こちら葛飾区亀有公園前派出所）がいます。『キャプテン翼』は、日本のサッカー人口を爆発的に増やしたといわれる国民的サッカーマンガ。マリオに扮した安倍晋三首相が話題となったリオ五輪の閉会式にも、日本発のキャラクターとして登場しました。

葛飾区を舞台にした『こちら葛飾区亀有公園前派出所』（通称こち亀）は、昭和51年から平成28年まで週刊少年ジャンプで連載されていた人気長寿マンガです。これまでに刊行された単行本は200巻、「最も発行巻数が多い単一漫画シリーズ」としてギネス世界記録にも認定されました。今年9月、惜しまれながらその40年の歴史に幕を下ろしましたが、

亀有駅周辺には15体もの銅像が建っており、両さんをはじめとする人気キャラクターにいつでも会いにいけるのです。

さっそく亀有駅に降り立ってみると、すでに銅像の前には人だかり。南口にある15体目は、今年8月に完成したばかりの両さん・中川・麗子の三人が一組になった珍しいカラー銅像です。「小さい頃から少年ジャンプを読んでいた、こち亀が大好き」というおじさん、両さんと手をつないで写真を撮る女の子、自撮りをする外国人まで、それぞれがこち亀との思い出をしっかりと胸に刻んでいます。人気作品のファンに支えられ、熱気と愛に包まれる亀有なのでした。

非公開の世界へようこそ！ 東京拘置所矯正展2016

ところで、もしも両さん（警察官）に逮捕されてしまった場合、どうなるのでしょうか？ およそ裁判で刑が確定するまでは拘置所に入ることになります。

葛飾区の端、小菅にある東京拘置所は、約3000人を収容できる日

の理解と協力が欠かせません。地域に支えられ、地域と共存していくためにも、年に1度拘置所に足を運んでもらい理解を深めていただけたらと思います」

メイド・イン・カツシカ 技術力で世界に勝負！

葛飾区は、都内でも有数の工業集

▲矯正展で人気だったお弁当。あっといいう間に完売。



▼朝から大勢の人でにぎわう東京拘置所。敷地の広さは東京ドーム約3.6個分！



▲会場に展示されていた富士刑務所の刑務所作業製品はなんと御神輿！

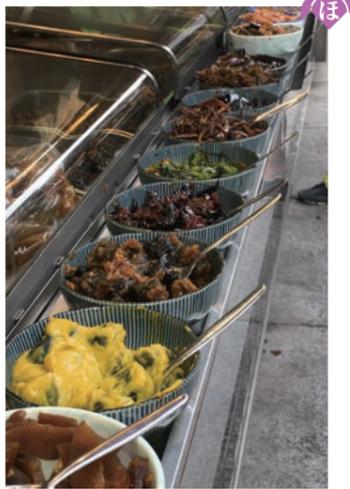
平成19年からは、葛飾区の町工場から生み出された選りすぐりの製品・部品を葛飾ブランド「葛飾町工場物語」認定品として定め、その背景や魅力を広く内外にPRするようになりました。

青戸にある昭和26年創業の株式会社浅川製作所もその一つ。金属製品・プラスチック製品の企画・デザイン・製造・生産管理を一貫して行う一方、江戸型紙の伝統工芸職人とコラボして作った「KATAGAMI METAL」が、平成25年、「葛飾町工場物語」に認定されました。「うちは小さいけれど、技術力と企画力では負けません。日本のプライドを持ってモノづくりに励んでいます」と語るのは会長の浅川弘人さん。KATAGAMI METAL®の世界進出も考えているといいます。



▲株式会社浅川製作所の技術力とデザイン力が結集したKATAGAMI METAL® (右)
▲会長の浅川弘人さん。東京商工会議所葛飾支部会長も務める。(左)

「発想次第で新しい商品や新しいマーケットを開拓していくことができます」と思っています。いいものを作らなければ淘汰されるだけ。浅川ブランドをしっかりと確立し、世の中か



▲「年に2回は新製品を出すようにしているんだよ」と探究心旺盛な「大徳」の長崎さん。
▶店先には試食用の漬物や佃煮がズラリ！

本最大規模の拘置所です。明治12年に設置されて以来、普段は基本的に敷地内に入ることはできません。そんなベールに包まれた施設にも、年に一度、誰でも足を踏み入れることができる日があります。その名も、「東京拘置所矯正展」。5回目となる今年は10月1日（土）に開催されました。子どもからお年寄りまで1万2000人もの人々が集まり、まるでお祭りのような雰囲気です。「矯正展は、拘置所のことを知ってもらうための第一歩」と話してくれたのは、法務事務官の長田清実さん。「犯罪者の再犯防止と矯正には地域

ら、どうしても必要」と思われる会社にしていききたいですね」

寅さんの故郷に、マンガの舞台、拘置所の取り組み、ものづくり。隠れた葛飾の底力に圧倒された今回の旅。葛飾にはまだまだ知られていない魅力がたくさん詰まっているようです。

【参考文献】

●「開館記念展 葛飾区展 1991年 葛飾区郷土と天文の博物館」

●「柴又帝釈天縁起」 帝釈天願経寺

▲葛飾区内の城北信用金庫店舗
1 葛飾支店 2 白鳥支店 3 白鳥支店 お花茶屋出張所
4 堀切支店 5 高砂支店 6 青戸支店



木のぬくもり感じる、 小さな鈴を作り続けて。

東草加支店 お取引先 阿部 隆 様

ご趣味拝見!



▲制作途中の木の鈴を並べると、木材が形を変えて少しずつ鈴らしくなっていくのがよくわかります。

昔から魔除けや開運に効果があると
いわれている鈴。金属や陶器でできて
いるものがほとんどですが、それを桜
やケヤキや榎などの木を使って手作業
で作っているのが阿部隆さんです。
これまでの作品を見せてもらうと、
オーソドックスな鈴の形以外に、ひよ
うたん形や太鼓形、人気アニメのキャ
ラクターの形をしたものまでありました。
すべすべと滑らかな木肌の鈴は驚くほ
ど精巧で、そつと振ってみると、コ口
コ口と優しく素朴な音色を響かせます。
阿部さんが木の鈴を作り始めたのは
6年前。お寺の木魚を見て、この中に
玉を入れたら鈴になるのではないかと
発想したのがきっかけでした。幼い頃

から手先が器用で、中学時代には
木材で飛行機やハンガーを作って
いたといいます。さつそく、パソ
コン台を解体して作業台に作り替え、
必要な刃物を独自に考案して作っ
てみたら、「最初から失敗せずに
うまくできてしまつてね」。それ
からは、くる日もくる日も、朝か
ら夕方まで黙々と鈴を作り続ける
毎日です。
構想を練って図面をひき、材料
となる木を形成したら、口の部分
に切り込みを入れます。その細い
隙間から電動ドリルで中身を削り
出し、空洞を作るのですが、この
とき、中に「木の玉」を残すのが至難
の技。気が遠くなるほど地道で根気の
いる作業です。
「頼りになるのは手先の感覚だけ。最
後に木の玉がぼろつとはずれた瞬間、
おおっ!と思いますね」
木を貼り合わせて作られる鈴はあつ
ても、一木彫いっきぼりで作られているものは珍
しいはず。
「みんな自分にはできないと言いま
すが、できないんじゃないやらないだ
け(笑)。私は誰もやっていないもの
を作ってみたかった。頭の中で描いた



▲外のガレージを作業場にして毎日鈴を作るという阿部隆さん。電動ドリルで慎重に空洞を掘り進める際、中の玉を残すのにかなり神経を使う。



通りのものが出来上がって、いい音が
鳴ったときはすごくうれしいですね」
今年の初め、最愛の奥様が亡くなら
れてからも作業場にこもってマイペー
スに作り続けてきました。
「こうやって作り続けているのは、純
粋に楽しいから。同じ木材で同じもの
を作っている毎手応えが違います。
次はどの木でどんな鈴を作ろうかと考
えるのも充実した時間です」

阿部 隆さん

【お住まい】草加市青柳4丁目33番

男の夢と人生を賭けて、 太鼓一筋66年。

峯新堀支店 お取引先 山口桂三 様

お仕事拝見!



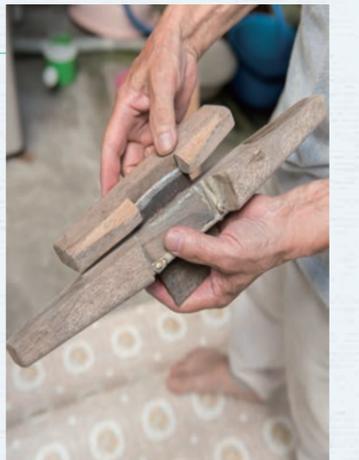
▲工房にあった2尺の平太鼓。これまでに増上寺や身延山久遠寺などにも奉納されています。

日本の行事に欠かせない楽器、太鼓。
その太鼓をつくり続けて66年。神社仏
閣で使われる長胴太鼓から、鼓、団扇
太鼓まで、大小さまざまな太鼓を手掛
けているのが山口桂三さんです。
2000年はもつという山口さんの太
鼓は、日本全国の神社やお寺からの注
文が多く、国立劇場での演奏に使われ
ることもあるといいます。
「最近はい中国の太鼓に押され気味。
でも、皮も胴も作り方が違うから、音
色がるで違うんだ」
昭和10年、福島県会津若松市に10人
兄弟の4番目として生まれた山口さん。
戦後、家庭の事情により15歳で丁稚奉
公に出されました。奉公先は東京・浅

草にある老舗の仏壇屋。そこで神
輿や太鼓や仏壇を作る職人の弟子
として働き始めたのです。
「明治生まれの厳しい親方しかい
ないから、刃を研ぐにも皮をな
めすにも何をやるにも怒られて
ね。狭くて硬い板の間に寝かされ
て、食事は土間でおかずはコロッケ。
1回だけじゃなかったよ、逃げ出
したのは(笑)。それでも手先が
器用で仕事が早かったから、ある
ときおまえは太鼓専門になれと」
太鼓づくりは、胴づくり・皮張
り・彫金・飾り金具・文字書きな
ど、すべての作業を一貫して一人
で行います。最初の工程となる牛の生
皮を均一になめす作業でさえ、一筋縄
ではいきません。少しでも鈍かたの刃が皮
に当たればすぐ傷になってしまいます。
そんなデリケートな作業も「絶対に失
敗はしない」と山口さんは自信たっ
ぷり。「悔しいからね、失敗すると。い
つでも落ち着いて作業に集中するこ
とが大切なんだよ」。
厳しい修行を乗り越えて、丁稚小僧
から独立したのは数十人の仲間のうち
山口さん唯一人。現在では、日本各地
や中国の職人からその技を教えてほし



▲山口桂三さん。休みが取れたら、温泉で司馬遼太郎の歴史小説を読みたいと笑う。右は、皮の厚さを一定にするための「皮すき鉋」。

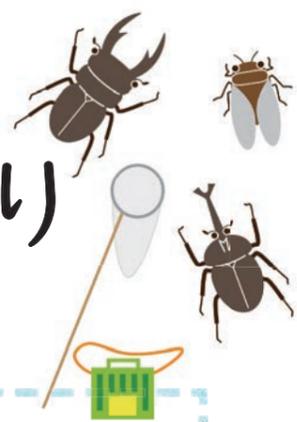


いと頼まれるほどです。
「それでもまだ1人前じゃない。60%
くらい。完成してうれしいとか、感動
とかはないけれど、自分の作った太鼓
に愛着は感じるね」
御年81歳。常に心掛けているのは、
お客さまの要望通りのいい音色を響か
せる太鼓をつくること。
「この体が元気に動いて、注文がある
限りは、太鼓を作り続けたい」

山口桂三さん

【お住まい】川口市新堀195番地3

夏休み 子供日帰り バス旅行



尾久中央支店 お取引先
村上節子 様

カブト虫狩りと マスのつかみ取り体験

「昨年は本物のリニアモーターカーが運良く見られたから、今回はカブト虫狩りにしよう」とすぐに決めた。ウチは(孫が)男の子ばかりだから!と笑顔で語る村上さんは、今回で3回目の参加と「夏休み子ども日帰り旅行」の常連様です。普段からとても仲が良いというお孫さん達は、「出発二日前から泊まり込みで来ていた」そうで、この旅行への並々ならぬ意気込みが十分に伝わってきます。

太陽が眩しい8月の早朝6時半、尾久中央支店を出発し、関越道を通って勝沼ICを下り、カブト虫狩りやマスのつかみ取りが体験できる「ハーブ庭園 旅日記」へ。カブト虫を捕まえたことのない都会っ子に、村上さんは手取り足取り上手に捕るコツを伝授してあげたそう。普

段見られない村上さんの技に、お孫さん達も感服していた様子でした。お土産にももらったペアのカブト虫をお孫さんたちは「専用のゼリーをエサにして、とっても大事に育てていますよ」とのこと。

お仕事でお忙しい中でも「孫と一緒にいる時間が楽しいから、もちろん来年も参加するつもり!!」と最後まで笑みが絶えない村上さん。お孫さん

達との新たな思い出
がつくれたようです。



▶捕まえたニジマスは
その場で塩焼きに!!

清門町支店 お取引先
大野ナヲ 様

スダテ漁と葛西臨海水族園

最近の東京湾は見違えるようにきれいに整備され、湾沿岸にはいくつかの海浜公園があり、砂浜でバーベキューを楽しんだり、岩場ではフィッシングも可能になったほどです。

した。「まだまだ小さな孫たちに、海で本物の魚に触れさせたくて」と、夏の思い出を楽しそうに語ります。旅行中はもっぱら1歳のお孫さんのお世話で大忙し!にもかかわらず、「海で喜んでしゃが姿がなんとも可愛くて、うれしくなりました」と振り返ります。お孫さん達は「目の前で捕まえたタイが思ったより大きくてびっくり!最初は怖がっていたけれど、皆とワイワイ遊んですっかり楽しんでました」と家族で夢中になったスダテ漁を満喫したご様子。

「元気じゃないと旅行に参加できないから、孫のためにもまだまだ健康でいなくちゃ」と心はずでに来年の夏休みに向けていらっやいました。

今夏、金庫初の試みである海のレジャー“スダテ漁(沖合いに立てた「すだて」という定置網に迷い込んだ魚を潮が引くのを待って捕まえに行く伝統漁法)”に参加された大野さんは、お孫さん4人、お嫁さん2人の総勢7名で参加されま

◀「いっぱい捕れたよ!」と
大喜びの子ども達。



日本三大夜景函館と星野リゾート青森屋に泊まる函館・青森グルメの旅 秋を先取り、 何度でも行きたい函館と青森! 伝統・食・大自然を満喫

10年前に退職された後、地元の北

区栄町親和会役員として地域に貢献されている後藤行夫さん。奥さまの啓子さんも地域の担い手として日々積極的に高齢者をサポート。いきいきとボランティア活動をなさっているご夫婦の楽しみは、毎年欠かさず参加されている城北信用金庫の旅行だそう。今回は秋色の空に変わりつつある函館と青森への二泊三日の旅についてお聞きしました。

食の秋にふさわしい 新鮮な地のものに感動

9月初旬、まず一行は空路で羽田から函館へ。「今回は、新鮮な海鮮料理を楽しみにしていました」と笑顔の啓子さん。到着後、最初の昼食の海鮮料理で人生初の「味噌塩辛」というものに「出会ってしまった!」そう。これまで食べた塩辛とは全く違う味で、私も主人もその美味しさに感動したんです」と感慨深げ。「早速、お土産にいくつ買って東京へ送りました。娘もこんな食べたことない」とすぐ喜んでくれました。

最初に泊まった
「ラビスタ函館」

▲「ねぶたの家 ワ・ラッセ」にて青森ねぶたを体感。「いつか本物のねぶた祭りが見たいですね」

「イ」は、朝食の美味しさで有名なホテルだそうで、「たくさんある具材から好きなものを選んで、マイ丼を作るんです。とにかく新鮮で私はイカの柔らかさにびっくり。「僕はマグロが一番だったね」と声を弾ませるご夫婦。また、二日目の宿「星野リゾート青森屋」では、「朝食のりんごが美味しくて、とれたてが食べられる贅沢さ、こんなにも違うものかとびっくりしました。ほっぺが落ちるってこんなことなのね」と大満足だったようです。

自然と伝統、 そして新しいものに触れて

旅行中は天候に恵まれ、「五稜郭タワーから見た(函館の)町の景色がそれはきれいでした」とご主人。ご夫婦が楽しみにしていたという函館の夜景は「残念ながら霧がかかっ

ていて見られなかったんですが、青森の弘前公園ではのんびりできました。次は桜の季節に是非行ってみたいものです。お二人が旅行でいつも楽しみにしているのが温泉。「青森屋」での露天風呂「浮湯」で「夜は特に暗いからお風呂と池を間違わないように」と注意があったのに、危うく露天風呂の横にあった池に足を入れるところでしたよ」と大笑いの行夫さん。「普段はどちらかと言うと、おもてなしをしている立場だけど、城北さんの旅行は反対に、おもてなしされっぱなし。みんな親切で気兼ねなく行けるところがいいですよ。元氣なうちに四国の方にも行ってみたいね」と笑顔のご夫妻。お二人の楽しい旅の話はこれからもまだまだ増えていきそうです。



梶原支店お取引先
後藤 行夫 様
後藤 啓子 様



王子営業部お取引先
江戸玉川屋
玉川食品株式会社
関根清元 様

受け継がれる伝統製法を知る。 東京23区唯一の “乾麺工場”



昭和十年創業以来、代々受け継がれている昔ながらの製法にこだわった乾麺が東京・王子で作られています。麺作りに対するこだわりや伝統を引き継ぐ秘訣はどこにあるのか、玉川食品株式会社の常務取締役・関根清元さんにお話しをうかがいました。

日々異なる素材と向き合う職人魂

関根さんの一日の始まりはその日の天候を調べることから始まるそうです。「毎日こうやって記録しているんですよ」と笑いながら見せてくれたノートには、その日の気候、室温や湿度、麺の状態など時間ごとにビッシリと書かれています。日々微妙に異なる乾燥具

等間隔に美しく並んだ麺のカーテン。手間暇かけて乾燥される事によってつるつるした食感が生まれる。



▲本社1階では乾麺のほか生麺やお得な切れ端麺などの限定販売も行っている。

合を研ぎ澄まされた職人の感覚で捉え、手間暇かけて「熟成乾燥」させ、麺を作り上げていきます。

東京都地域特産品に 認証されたロングセラーの “満さくうどん”

お店をのぞいてみると、種類豊富な麺がずらりと並んでいます。中でも目を引くのが、お店の看板商品である「満さくうどん」。平成26年度の東京都地域特産品認証食品として認定されたこの商品は、「92℃以上の熱湯で“湯捏”し、24時間（通常の4倍！）“熟成乾燥”させて作ります。つるつるした食感がウチの特徴なんです」。原料となる小麦粉にも特徴があり、関根さん自ら産地へ赴き手触り確かめ実際に捏ねて良いものだけを選ぶそうです。北海道産はもちもち感が強く、九州やオーストラリア産は「つるみ」があるのだそう。

「海外産の小麦と言っても、日本向けに土壌作りされ、うどん用に作られた小麦だから安心です。製品によってそれぞれの特長を活かして使用しています」

親しまれる麺づくりを目指して

訪日観光客が増え、今後はジャパンニーズ・ヌードルの消費増が見込まれる中、玉川食品では伝統を受け継ぐ若くてエネルギーシユなご兄弟が更なる可能性を模索しています。

「特に日持ちのする乾麺は今後の消費が期待されます。東京土産として喜ばれる製品開発に挑戦し、老若男女問わず親しまれる麺づくりを目指していきます」と熱く語る関根さんの「満さくうどん」を早速いただいたてみました。つるんとした食感で、なめらかなのど越しの細麺はいくらでも入りそう。この冬、お鍋や温かいおつゆで皆さまも召しあがってみてはいかがでしょうか。



玉川食品株式会社
【住所】東京都北区豊島7-5-12
【電話】03-3913-5705 (代)
【本社営業時間】10時～18時 【定休日】日曜・祝日
【ネット通販】「江戸玉川屋」で検索
または<http://www.edo-tamagawaya.jp/onlineshop/>

お客さまに信頼される パートナーを目指して

初めまして！
マネーアドバイザー
グループです。



私たちマネーアドバイザーは、昨年発足したばかりの新しいチームです。現在女性5名で活動しており、「お客さまの生活がさらに豊かになるように」を願い、お金に関わるご相談を承っております。お客さまとのコミュニケーションを大切にしながら、ご意向に合った金融商品やサービスをご提案しております。

最近、お客さまから「今は預けていても、なかなか増えない」とのお声を多く聞きます。空前の低金利時代になってしまい、どなたも日頃同じように感じておられる事でしょう。そんな時は、お客さまのお考えやご投資経験など、じっくりとお話をお伺いしたうえで資産運用のお手伝いをしてまいります。運用商品のうち特に投資信託については、預金に比べて高い利

回りが期待できますが、元本が保証されないなどの定期預金とは異なる点がありますので、十分ご理解いただけるように時間をかけてご説明させていただいております。投資信託をご購入頂いたお客さまへの、アフターフォローを定期的に行っており、「運用状況がよくわかってよかった。買った後もマーケットの動向に関する情報を定期的に教えてくれるので安心だわ」とのうれしいお言葉を頂戴しております。

去る9月21日には運用会社から講師を招き「資産運用セミナー」を開催いたしました。投資経験のあるなしに関わらず、「経済の話を通じて勉強になったわ」「参加して良かったよ」といった嬉しい反響が多く寄せられました。今後もお客さまに喜んでもらえる企画

をマネーアドバイザー全員で考えていきたいと思っています。これからお客さまに感謝されるよう少しでもお役に立てればと願い日々頑張っております。不明な点やご相談がございましたら、どんな些細なことでもお声掛けください。



「ささいな事でも
ご相談ください。
皆さまにお会いできることを
楽しみにしております。」

「城北年金友の会」会員のみなさまへ
お誕生月にお届けいたします。

平成29年

お誕生日プレゼント

男性用

コーヒースプーンと
フルーツフォーク(各5本)



【製品の特徴】

- *さびにくく、衛生的なステンレス製
- *金属洋食器で有名な燕三条製
- *使いやすいシンプルなデザイン

女性用

両手が使えるめがね型ルーペ



【製品の特徴】

- *メガネの上からかけられます。
- *両手が使えるので、手芸・爪のお手入れ・読書に便利！
- *老眼鏡と違いピントを合わせるのではなく、拡大して見るので目が疲れにくい！



電話1本 300万!!



「自分には悪いことなんて起こらない」と思っていないですか？
 巧妙な手口でお金をだまし取る特殊詐欺の被害者のほとんどが65歳以上の高齢者といわれています。「私は絶対大丈夫」と思わず、誰でもだまされる可能性があることをいつでも頭に入れておきましょう。

親心 スイッチオン

>>> 子や孫をかたった親しげな電話

誰でも陥る危険な罠！ だって……
「自分には悪いことなんて起こらない」



POINT “電話の声だけで、子や孫だとわかる” は大きな誤解！

>>> 「とにかく急ぎお金が必要、必ず明日には返せるから」

なんとか子（孫）の一大事を助けてあげたい。だって……
「私がだまされるわけがない」



POINT 家族を心配する気持ちに付け込んだ巧妙で悪質な手口にだまされないで！

焦る気持ちを抑えて
 子、孫の“もともとの携帯電話”
 に連絡を取ることで被害を防ぐ

- 日頃から家族間でよく話す機会をつくる。
- 合言葉や電話でお金の話をしらないなどの約束を決める。
- 固定電話は常に留守番電話に設定をする。大切な要件なら相手はメッセージを残すはずです！

「私は絶対大丈夫」 は大きな誤解です！

誰でもだまされる可能性があるのが特殊詐欺。一人で悩まず、まずは家族や警察に相談しましょう。

城北信用金庫は「詐欺被害」撲滅に努めております。